

## 🐹 ハムスターが家にやってきたら…

かわいいハムスターが家にやってきたら、早く触れ合いたい、抱っこしたいと思うでしょう。しかし、いきなり撫で回したり、奪い合って触れ合おうとしないで下さい。ハムスターはとても臆病な動物です。お迎えしたばかりのハムスターは見知らぬ場所でおびえています。2～3日はそっと見守りながらケージの中でゆっくり環境に慣らし、徐々に触れ合う時間を増やして行きましょう。

最初は、ヒマワリの種などの好物をそっと手から渡してあげて「手は怖くない」という事を教えてあげます。手から受け取るのに慣れてきたら手の平の上に好物を置きハムスターから触れるのを待ちます。餌や好物をあげるとき、優しく名前を呼んであげると良いでしょう。それを続けて人の手や声が害の無い物と理解できるまで慣らしていきます。大きな手にいきなり捕まえられたり、押さえつけられたりすることは、体の小さなハムスターにとって、とても恐ろしいことです。そして強く握られると簡単にケガをしてしまう事を頭に入れておいて下さい。恐怖や好奇心から噛んでしまうハムスターもいますので、焦らず注意して接して行きましょう。

人間と同じように、個性があり、体格や性格もそれぞれで変わっています。冒険大好き！、怖がり、おっとり、やんちゃさん、食いしん坊… 実に千差万別です。あなたの家族となったハムスターをよく観察して、性格を読み解きながら接してあげましょう。

## 🐹 ハムスターと接する時の注意



### むやみにハムスターを驚かせない

近くで大声や大きな物音を立てたり、追い回したり突然つかましないで下さい。また、しつこく称して叩いたり、突付いたりしないで下さい。小さな彼らには、命の危機に等しい事です。触れるときは優しく、乱暴に扱わないように心がけて下さい。また、ゆっくり眠っている時は邪魔をしないようにしてあげましょう。



### 触ったりお世話をする前後に手を洗う

ハムスターと一緒に暮らしていても、人間とは違う生き物です。いくら仲良しでも、人から病気の原因をもらってしまったり、お世話する人や周りの人に影響を与えてしまう場合があります。ハムスターの環境は不衛生にならないように気を付け、触れる前後に手洗いを忘れないようにしましょう。



### 事故に注意する

ハムスターの行動範囲に、危険なものや場所が無いが注意して下さい。害となる植物やコンセントや電源プラグなどは、ガードしておくか撤去して、イタズラできないように工夫して下さい。脱走してしまう場合を考え、出入り口にナスカンなどをはめておいたり、体の柔らかい彼らが思わぬ隙間に入り込まないようにガードしておくなど、事故にあわない様に注意しましょう。

## ●たいせつなお願い●

### ー ハムスターは生きています ー

ハムスターを飼うときはその命が終わるまで、飼い主としての責任と愛情をもって飼育して下さい。

全てのハムスターが、常に健康で人間の思い通りになるわけではありません。飼い主のわがままから途中で見放したり、世話を怠らないようにしましょう。その為にもハムスターの生態について飼い主がよく理解しておくことが、とても大切です。飼育用品は数多く販売されていますが、全てをカバー出来る物ではありません。生き物は予測不可能な行動をするときがあります。その用品が自分の飼っているハムスターに合っているか見極め、事故が起こる前に対応してあげるのも飼い主の責任です。飼育書や図鑑などで自身の知識を深めることや、主治医を見つけておくことも必要です。



Small Animal Products  
株式会社 三晃商会  
〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54  
TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com



# はじめまして! ハムスター



クリクリのまあるい目、器用に動く小さな手足、  
いろんなかわいい仕草を、ずっと見ていたくなるハムスター達。  
楽しく彼らと暮らすために、快適な環境を整えてあげましょう!

冒険大好き!



小さな体のハムスターは、とっても繊細で臆病ですが、  
その中には大きな好奇心を持っています。  
小さな冒険者である彼らの生活や生態をよく考えて接し、  
彼らに、安心して快適に過ごせる環境を提供できれば、  
様々なユーモラスで愛らしい姿を見せてくれることでしょう。

SANKO

※おとうさんやおかあさんといっしょにみましよう!

# 安心できるおうちを用意しよう

ハムスターにはいろんな種類があり、代表的なハムスターでは、ちょっと大きめの「ゴールデンハムスター」や、大人になっても小さい体の「ドワーフハムスター」などがあります。性質や行動、用品の大きさも種類によって少し変わってきます。まず飼うハムスターがどのような種類なのか、調べておきましょう。



ゴールデンハムスター

ジャンガリアンハムスター

ロボロフスキーハムスター



※劣化した用品はケガや事故の元になります。状態の悪くなった物は早めに取り替えてください。

## 飼育容器

飼育するハムスターの種類によって用意する容器の大きさは変わります。成長した時の大きさを考えて、必要な用品を置いても、のびのびと動けるサイズの容器を選びます。ひとつの容器には一匹のハムスターを入れるのが基本です。複数のハムスターを入れると、ケンカをして、ひどいケガをする危険がありますので避けましょう。(特にゴールデンハムスターの場合)

容器は通気性が良く、掃除やお世話がしやすくハムスターが脱走にくい、しっかりとしたモノを選びましょう。飼育容器は色々なタイプのモノが売られています。それぞれに利点や欠点がありますので、使用方法を考え、事故対策なども準備するようにしましょう。気温や季節にあわせて容器を変えても良いでしょう。



## 給水ボトル

いつでも新鮮な水が飲めるように、給水ボトルを用意します。ハムスターは体が濡れてしまうのを嫌うので、給水ボトルを使うと容器の中の環境も維持しやすくなります。中の水は毎日入れ替えてあげてください。



## エサ皿

ハムスターの餌を入れます。広口でひっくり返らないような重みがあり、あまり深すぎないものが良いでしょう。陶器製など、重みがあり、しっかりした素材がオススメです。



## かじり木

ハムスターは歯が一生伸び続けます。そのため、色々なモノをかじって歯を削ろうとします。かじっても安全な木片などを入れてあげましょう。

穴くぐりは習性を活かした楽しい遊び!!パイプを配置するとストレスの解消にも



## 敷材

乾草や飼育用の敷材を容器の底に敷いておくと、余分な湿気を吸収したり、湿度を保ったり、容器内の環境が維持しやすくなります。濡れたり汚れたら取り替えます。この時、古い敷材を少し残して新しい敷材に混ぜてあげましょう。ハムスターが環境になじみやすくなります。敷材の素材は様々ありますが、アレルギー・刺激の少ない広葉樹のウッドチップなどが良いでしょう。

## ハウス

隠れ家があると、ハムスターは安心して眠ったり、餌を食べたりすることができます。体の大きさに合ったハウスを用意してあげましょう。運び入れた餌が腐ったり、中をトイレにしてしまう場合があるので、定期的に中身をチェックして、清潔が保てるようにして下さい。

## 砂風呂

ハムスターは砂浴びが大好き! 砂浴びをすることで、皮毛や体の清潔を保ちます。ストレス解消にも役立ちます。

## ホイール

ハムスターは見かけによらずパワフルに活動します。ホイールを入れてあげると運動不足の解消に役立ちます。ハムスターの体に合った大きさのものを選びます。

ハムスターの体は小さく、人間よりもずっと環境の影響を受けてしまいます。飼育容器は風通しが良い、直射日光の当たらない場所に置きます。暑すぎない・寒すぎない快適な場所で飼育するようにしましょう。涼しい場所が良いからといって、エアコンの風が当たる場所に置いたり、凍らせた保冷材などが体に直接当たるように置かないようにして下さい。(気温は20~26℃、湿度は40~60%位が基準です。)



## ハムスターのごはん

ハムスターは雑食です。動物性や植物性の様々なものを栄養として必要としています。それらをバランスよく与えるのはとても大変ですが、ハムスター専用フードを使うと必要な栄養素をバランスよく採ることができます。その他では、おやつとして新鮮な野菜や果物、ヒマワリの種、トウモロコシ等を少量あげると良いでしょう。

## ペレット

ペレット状の専用フードは必要な栄養を**バランスよく**補給出来るだけでなく、硬さがあるペレットは伸びてくると歯を削る効果があります。



## 水

乾燥した地域が出身のハムスターでも飲み水が必要で、ペレットを食べているハムスターには特に不可欠です。新鮮な水がいつでも飲めるようにしてあげて下さい。

## 副食

・新鮮な野菜や果物を与える場合  
流水で水洗いした後、水気をよくふき取ってから与えます。水気が残った状態で与えると下痢など体調不良の原因になる場合があります。レタスやキュウリ、スイカなど、水分が多い野菜や果物は与えない方が良いでしょう。また、ネギ類やニラ、にんにく、唐辛子などの刺激が強い野菜は与えないで下さい。特に、たまねぎをはじめとするネギ類は中毒になる成分が含まれています。



・種やナッツ類を与える場合  
ヒマワリの種やクルミなどは、ハムスターの大好物ですが、主食にはなりません。油脂分も多く、肥満の原因になったりそれだけでは栄養が偏ってしまいます。おやつやごほうび程度に、極少量を与える様にしてください。

## サプリメント

乳酸菌やビタミン剤など、色々な効能が期待できるサプリメントがあります。体調に合わせて使用してあげると良いでしょう。



## ハムスターに食べさせてはいけないもの

副食やおやつとして、専用フード以外のものを与える時は、ハムスターが食べても良いものが確かめてから与える様にして下さい。ハムスターが食べてはいけないものは、人間の生活のまわりに、たくさんあるという事を知り、安全性が判断できないものは与えないで下さい。また、人間用に加工されている食べものは、ハムスターに与えないようにして下さい。「ちょっとだけなら・・・」 そのちょっとはハムスターにとって、とても危険です。

人間が食べられても、ハムスターに毒性がある食べものがとても多いことを知って下さい。食べられる物でも、部位によって毒性があるもの、ハムスターの体に良く無いものがあります。食べものだけでなく、観葉植物や家の草花の中にも、食べてしまうと危険なものがあります。ハムスターはそれが食べても良いものかどうかを自分で判断する事はできません。